

問題 1 次の経営戦略に関する各設問に答えよ。

＜設問 1＞ 次の PPM に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

PPM (Product Portfolio Management) とは、自社の事業を市場の成長率（以下、成長率）と相対的な市場の占有率（以下、シェア）により「花形」、「金のなる木」、「問題児」、「負け犬」に分類し、今後の投資戦略をどうするかなどを検討する。

J 社は国内向けの家電製品を製造しており、次の 4 つの製品を分析した。

表 製品の分析

製品	分析結果
LED 照明機器	従来の電球や蛍光灯に比べて高価ながらも寿命が長く電力消費量が少ないことから普及が進んで成長率が高くなっている。J 社の販売戦略が成功したため、J 社のシェアは高くなった。
液晶テレビ	大画面化・高画質化が進んでいるが、国内販売数は減少し、成長率は低いと言える。海外の安い製品などにシェアを奪われつつあり、J 社のシェアは低い。
ヘッドフォン	スマートフォンなどの携帯情報端末を所有する人が増えており、音楽プレイヤーとして利用する人も多い。成長率が高いと思われるが、J 社の認知度が低いことが影響して J 社のシェアは低い。
愛玩ロボット	コンピュータを内蔵した動物型のロボットである。他社でも同種の製品が販売されてブームを作ったが、最近は業界全体で販売数が横ばいである。撤退する企業が相次いでいるが、J 社の製品は販売量が安定しており、シェアは高い位置をキープしている。

これらから、「花形」となる製品は (1) , 「金のなる木」となる製品は (2) , 「問題児」となる製品は (3) , 「負け犬」となる製品は (4) である。
PPM では、 (5) で得た利益を (6) に投資してその事業を成長させる。

(1) ～ (4) の解答群

ア. LED 照明機器
ウ. 液晶テレビ

イ. 愛玩ロボット
エ. ヘッドフォン

(5) の解答群

ア. 金のなる木 イ. 花形 ウ. 負け犬 エ. 問題児

(6) の解答群

ア. 花形や負け犬 イ. 花形や問題児 ウ. 負け犬や問題児

<設問 2> 次の SWOT 分析に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

SWOT 分析とは、内部環境における強みと弱み、外部環境における機会と脅威の 4 つのカテゴリで分析し、事業戦略を考えるためのフレームワークである。

IT 企業の P 社で行った SWOT 分析は、表のようになった。

表 SWOT 分析

強み (Strengths)	機会 (Opportunities)
<ul style="list-style-type: none">・ネットワーク技術に高い評価を得ている・ホスティングのシェアが高い	<ul style="list-style-type: none">・クラウド環境への関心が高い・世界中が市場になっている
弱み (Weaknesses)	脅威 (Threats)
<ul style="list-style-type: none">・営業力が弱い・社内で統一した意思を決定するのに時間がかかる	<ul style="list-style-type: none">・海外からの参入企業が増えている・新規システム開発の需要が低い

この分析をもとに、強み、機会、弱み、脅威を組み合わせで戦略を考える。

例えば、「レンタルサーバの技術を応用してクラウドビジネスを世界中に展開する」という戦略は (7) を組み合わせたものであり、「元々持っている技術力をさらに高めて海外からの参入に対抗する」という戦略は (8) の組合せになる。

(7) , (8) の解答群

ア. 強みと機会

ウ. 弱みと機会

イ. 強みと脅威

エ. 弱みと脅威